

13011 児童教育演習Ⅱ b Pupil Education Seminar II		4 年次 通年 4 単位	
担当者	石川 潤	履修可能学科	Pe必
		関 連 資 格	
サブタイトル	授業づくりと授業の実際		
授業内容 ・ ねらい	教員は、教壇に立ったそのときから、一人前の教員としてその力量を発揮することが望まれる。特に、授業は「教員は授業で勝負する」といわれるよう教育活動のなかで主要な位置を占める。 これまでの学習指導案立案に係る授業を踏まえ、その力量をより確かなものとし、将来、よりよい授業を展開できるようにしたい。授業のねらいと内容は以下のとおりである。 1.授業づくりの基本に対する理解をより確かなものとし、学習指導案を立案する。 2.授業づくりと授業の実際を参観することにより、よりよい授業を構築しようとする意欲をもつ。 3.よりよい授業を構築するには、自らが学び続けねばならないこと、独りよがりにならず他と協力して進めることの大切さに気付く。 4.授業の実際を参観することとおして、授業の理論や原理等がどう表現されているか気付くとともに、授業はその場の環境を含めて、総合的に構築されていることを理解する。 5.よりよい授業をめざして授業評価を実施し、授業改善を図ることの大切さを理解する。		
授業計画	1.授業計画（年間・前期）、教科の授業の構成要素 2.教科目標・学年目標と内容の設定 3.単元目標の設定と分析及び評価 4.単元指導の構成（単元観・児童の実態・指導観）の設定 5.単元の指導・評価計画の立案 6.単位時間のねらいの設定と分析及び評価 7.教科書教材の研究 8.単位時間の学習過程・学習活動・学習形態の設定 9.発問案の作成 10.板書案の作成 11.資料等の作成 12.学習指導案、本時の展開の立案・作成 13.学習指導案の完成 14.単位時間の授業の概要の発表と授業実践 15.授業評価と授業改善及び前期のまとめ 16.後期の授業計画、授業に対する教師の姿勢 17.幼児の発達段階と保育参観の視点 18.保育参観 19.保育参観の振り返り、小学校低学年児童の発達段階と授業参観の視点 20.小学校低学年の授業参観 21.小学校低学年の授業参観の振り返り、幼稚園の保育と小学校低学年の授業の接続について 22.小学校中学年児童の発達段階と授業参観の視点 23.小学校中学年の授業参観 24.小学校中学年の授業参観の振り返り、小学校高学年児童の発達段階と授業参観の視点 25.小学校高学年の授業参観 26.小学校高学年の授業参観の振り返り、小学校の授業の全体の振り返り 27.中学校生徒の発達段階と授業参観の視点 28.中学校の授業参観 29.中学校の授業参観の振り返り、小学校の授業と中学校の授業の接続について 30.学校教育目標と授業及び後期・総まとめ		
教科書 参考書	教科書は特に用いない。 参）小学校教科書『平成20年版「小学校学習指導要領解説」社会編』その他必要な資料は適宜配布する。 参考図書は授業の中で紹介する。		
評価方法	試験、報告書(レポート等)、出席状況、授業態度等により総合的に判定する。		
事前準備学習 履修条件等	教科の授業における「授業の構成要素」について理解していること。 授業には、課題意識をもち、積極的な姿勢・態度で望むこと。 後期は授業参観が中心になるので、頭髪・服装等、学校・児童生徒に迷惑がかからぬよう留意すること。		